

創つくるる

vol.150

平成29年1月1日発行

新年のご挨拶.....	1
藤枝市長.....	3
真に「選ばれるまち」を目指して	
フリートーク.....	4
現場紹介.....	5
トピックス.....	7
市町イベント情報・わが町探訪...	9
防災日誌.....	10
協会だより.....	11



賀正
2017



謹賀新年



一般社団法人
島田建設業協会会長

橋本 勝策

平成29年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

旧年中は会員並びに関係者の皆様方には、当協会の事業活動に対しまして、ご理解と多大なご協力を賜わり、心より御礼を申し上げます。

私自身としましては、会長職という重大な任に就いて、初めての新年を迎えております。

また、旧年中は当協会会長職のほか、静岡県建設業協会の理事職を承ることで、さらに幅広い活動に参加させていただく機会が得られ、建設業界がおかれた現状や今後取り組むべき課題など、多くの事を学ぶ貴重な1年でありました。

さて、改めて昨年を振り返ってみますと、我が国は、少子高齢化を背景として、景気の停滞や長年続いたデフレが懸念される中、政府は、消費税率引き上げの再延期と併せ、大規模な経済対策や金融緩和の強化など、アベノミクスのさらなる推進を図り

ました。

今後、様々な施策の効果に期待しているところでもあります。

一方、災害関係に目を向けてみますと、昨年4月に熊本地震が発生し、多くの死者や負傷者のほか家屋の倒壊など甚大な被害が発生しました。

さらに、10月には、鳥取県中部でマグニチュード6.6の地震が発生、重軽傷者や家屋の被害などが報道されましたが、これらは、地震が日本中のどこでも起こり得ることを、強く印象づけました。

また、昨年は、例年より多くの台風が日本列島に上陸し、特に北海道や東北地方では大きな被害を受けましたが、さらに、11月末には青森県と新潟県の農場で鳥インフルエンザが発生し、全国どこの地域であっても発生が懸念される状況が現在も続いております。

このように、近年は、地震に限らず自然災害が増

えておりますが、国土における防災強化の必要性や社会資本の整備の重要性が改めて認識されることとなっております。

しかしながら、私たち建設業界は、長年にわたる建設投資の減少や、価格競争の激化、さらには、将来の担い手となる若年層の技能者などが減少し、本来担うべき、これらの事業への対応等に支障が生じることが、懸念されるのであります。

このような中、昨年から品確法の本格的な運用が始まり各自自治体で歩切りの撤廃や、公共工事設計労務単価も、昨年、新たな労務単価が採用され、国、県ともに引き上げられました。

このように、適正利潤の確保や担い手の確保・育成を図る環境の整備は、今後も、行政機関が継続して取り組むことを期待するところでありますが、さらに、現場の生産性向上に資する「[Construction]」の推進も必要と考えております。

建設業を取り巻く環境は、行政機関の努力もあり、徐々に改善されていくものと思われませんが、現状はまだまだ厳しい状況にあります。

会員の皆様は、厳しい環境の中で、日々、経営努力をされていると思いますが、当協会におきましては、本年も公益的な活動を通じて地域に貢献するとともに、会員にとって有益となる活動を推進してまいりたいと存じます。

今年もよろしくお願いいたします。



一般社団法人
島田建設業協会副会長
朝倉 純夫

新年明けましておめでとうございます。
昨年は、会員の皆様方には協会運営・事業活動に、ご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。ありがとうございました。

一昨年に続き昨年も発注機関との意見交換会が実施でき、我々業界の現状を聞いて頂き、行政側の方針、方向性、考え方をお聞きでき、大変に参考になった、勉強の一年でした。

この流れは今年にも継いでゆきたい、又、昨年以上に向上してゆきたいと思っております。

さて、昨年も熊本で大きな地震がありました。この処、毎年のように国内各地において災害が発生して居ります。年々巨大化し被害が大きくなっています。

我々業者としては常に災害対応に備えています。これもこれも本業の仕事量が確保されての事であり、この点は是非とも、発注機関にはお願いを致します。思いますが、自らの企業としても相当なる努力をしなければと、今年も又、気持ちを新たに居ります。

技術の伝承、業界への入職者の問題等、多岐に渡ってやるべき事の多い一年に今年も又なるものと思っております。頑張つてやってゆきたいと思っております。

本年も、皆様方のご指導、ご協力を頂きながら、多方面に渡って活動展開をしてゆきたいと考えております。今年が会員の皆様にとって、佳き年でありませうよう祈念いたしました。新年のご挨拶とさせていただきます。



一般社団法人
島田建設業協会副会長
大石 卯吉

新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様方には、決意も新たに、健やかに新年を迎えることと心からお慶び申し上げます。
昨年も、協会の運営にひとかたならぬご理解と御協力を賜り深く感謝申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、リオ五輪・リオパラメダルラッシュに沸いた一方で、熊本県の大地震による大きな被害を始め、各地における大規模な自然災害が猛威を振るい多くの命や貴重な財産が失われたことは大変残念なことで、災害大国日本という認識を改めて感じてもありました。

申し上げるまでもなく、我々建設業界は、国民生活と地域経済を支える基幹産業であるとともに、防災・減災を果たすべき社会的責務も担っております。

被災された、みなさまの一刻も早い復興を切に願うものであります。

さて、最近の建設業界は、政府、民間を含めた建設投資が低迷し経営は依然として厳しい状況下にあります。

このような状況の中で、地域経済を支えてきた建設業がその活力を回復し、雇用や災害対応など社会・経済に重要な役割を果たすためには、業界が一体となって、経営環境や労働環境の改善を図りながら適正利潤の確保を図っていく必要があります。本年も会員企業皆様方の経営安定と魅力ある建設業繁栄のため、微力ながら精一杯努力していきたく思いますので、皆様方より一層の御支援、御協力をお願いいたします。

結びに、会員の皆様方にとって明るい飛躍の年になりますよう心から祈念いたしました。新年のご挨拶といたします。



一般社団法人
島田建設業協会副会長
山田 壽久

新年あけましておめでとうございます。
協会会員の皆さま方に置かれましては、穏やかに新年をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

昨年一年間も協会の事業に対しまして、多大なご協力を賜り、御礼申し上げます。

業界の業況につきましては、なかなかアベノミクスの第三の矢の効果が地方にまで届かないのが現状であります。昨年の年度当初には、公共工事の発注が遅く、会員の皆さまには大変ご苦労された事と感じております。併せて東日本大震災の復興や、東京オリンピックの開催に伴うインフラ整備に、多くの技術者や技能工、そして各種資材が集中し、工事費の高騰で、今年も厳しい状況が続くと思われまます。

このような状況においても、建設業協会としての責務は果たしていかなければなりません。ここ数年は異常気象による風水害が発生しており、昨年暮れには鳥インフルエンザも発生、また東海・東南海地震も想定される中、災害対応も協会の重要な課題であります。

今年の干支は「丁酉（ひのととり）」。「酉」は果実が成熟の極限に達した状態を表し、「丁」は安定するということの意味があり、成長した植物が成熟し安定する年という事ですが、私も建設業界は、引き続き苦勞の多い年になると思ひます。固い信念と勇氣を持って、会社経営並びに協会運営に努力して参りたいと思ひます。

一年、ご指導とご協力をお願い申し上げます。

真に「選ばれるまち」を目指して



藤枝市長
北村 正平 氏

■はじめに

新年明けましておめでとうございます。島田建設業協会の皆様におかれましては、つがなく新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。また、日頃より藤枝市政に對しましてご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

■継続的に人口が増加

さて、現在本市は、継続的に人口が増加し、民間投資も進んでいることから活力に満ち、大変良い循環が生まれています。こうした背景には、財政の経営健全化やこれまで重点的に進めてきた市民生活に直結する「4つのK（健康・教育・環境・危機管理）」の施策、子育て支援の充実、中心市街地の魅力向上など、住民と行政とが連携し、情熱を持って実践してきた成果であると思えます。

■真に「選ばれるまち」として前進

私は、こうした勢いを止めることなく、本市が真に「選ばれるまち」として前進していくよう、施策に取り組む基本的な方針として、次の3つを掲げ、市政経営にあたることとしております。

1. 人財育成

人は、まちの「宝」です。まちが元気であり続けるためには、行政の先導役を担う市職員の人財と熱意が重要であることは言うまでもありませんが、まち全体として、さらに「元氣あふれる藤枝」として飛躍すべく、各地域、各分野でリーダーとなる人財を発掘し、大切に育て、より強い協働ができるよう力を注いでいきます。

2. 広域連携

人口減少社会への対応や地域経済力の強化

には、ヒトやモノがダイナミックに動くことが不可欠であり、そのためには近隣市町はもちろぬ、雇用の大きな受け皿となる静岡市なども含めた、さらに大きな枠組みでの連携が重要です。そこで、幅広い分野において、各市町の持つ個性と役割、潜在能力を最大限活かし、県とも手を携えて、ヒトやモノの流れを生む圏域づくりを進めていきます。

3. 人口対策

私は、我々行政の最大の使命である「市民一人ひとりの健やかな暮らしを守る」、この基本を確実かつ徹底して実現することが、喫緊の課題である人口対策の要と考え、これまで重点的に進めてきた4つのKの施策をさらに磨き、特に若い世代や女性が生き生き活躍できる「しごと」を、民間の皆様と手を携え、創り上げていきます。

■4つの具体的な施策

この3つの基本的な考えのもと、国と地方が一体となって進める地方創生を実現するための、「健全な都市」を築き、「健全な都市」が「市民の健康」を創り、さらに人を呼び込む好循環を生み出す必要があります。そのために、具体的な4つの施策を重点的に推進していきます。

1. 「安全・安心なまちを創る」

まずは、原子力災害に対する対応や広域避難計画の構築、大規模地震を教訓にした災害対策の見直し、さらには、市立病院の「救急センター」の「救急救命センター」への格上げ、地域包括ケアシステムの構築、クリンセンターの整備を促進し、安全・安心の提供に努めていきます。

2. 「産業と仕事を創る」

また、人口減少対策には、若い世代の雇用の受け皿づくりが不可欠。本市独自の「エコ

ノミックガーデニング」による地元産業の一貫したサポートや、女性の活躍に着目した起業・創業支援に努め、さらには、新東名、東名IC周辺への新産業の集積にも積極的に取り組んでいきます。

3. 「ひとの流れを創る」

さらに、藤枝駅周辺や蓮華寺池公園をはじめとした本市の主要な「拠点」と、それらを繋げる道路や公共交通ネットワーク、そして、「ふじえだ花回廊」づくりを進めていきます。併せて、中山間地域への移住・定住を進めるため、田園環境を生かした住宅地づくりに取り組んでいきます。

4. 「出会いと子どもの未来を創る」

また、若い世代の結婚、出産、子育てに対する一元的な相談体制づくりと障害を持つ子どもへの切れ目ない支援を進めていきます。同時に、英語や科学・ロボット・ICT教育など、本市ならではの確立した教育で、藤枝で、そして、世界で活躍できる人財の輩出を目指していきます。

■結び

日本は今、人口減少社会に突入し、大きな転換期を迎えており、まさに地方自治体の力が試される時です。こうした中、私が思い描くまちの姿は、「誰もが幸せに暮らし、希望が持てるまち」であり、これからも、多くの人々から本市が真に「選ばれるまち」として成長するよう、ダイナミックな政策提案と着実な事業展開で、常に将来のまちの姿を見据えながら、市政経営に邁進してまいりますので、今後とも、地域の発展のため、島田建設業協会の皆様の御理解と御協力をお願いします。

フリーストーク

教育

“教育”という言葉辞書を調べてみると、「ある人間を望ましい姿に変化させる為に、心身両面にわたって、意図的、計画的に働きかけること。知識の啓発、技能の教授、人間性の涵養（かんよう）などを図り、その人の持つ能力を伸ばそうと試みること。」とあります。

人は生きてく上で常に教育と向き合っているのではないのでしょうか。それは、自分が教育を受けることであったり、人に教育する事もあるでしょう。年配になれば人に教育する立場になる。というものでもありません。いくつになっても知らないことは学び、経験豊富な事は教授していく。生涯続くことでしょう。

会社（仕事）での教育に焦点を絞ります。現在の10代後半～20代半ばくらいの若手社員は“ゆとり世代”と呼ばれ10の特徴があるとされています。

- ① 手っ取り早く成果を上げたい
- ② 自主性が無く指示待ち人間
- ③ 何よりもプライベート優先
- ④ すぐに結果を求める
- ⑤ 自分の成長に繋がる事しか興味がない
- ⑥ 叱られるとすぐ萎縮してしまう
- ⑦ 恋愛に興味がない

- ⑧ 会社の飲み会に参加しない
- ⑨ ギャンブルをしない
- ⑩ 物やお金への執着が薄い

こう列挙すると、今の会社のシステムに馴染みにくい特徴を持っていると捉えがちですが、決して使えない人材というわけではありません。逆に、現在の社会変化に、もっとも適応している有望な人材ではないでしょうか。

その人材を伸ばすのも、使えなくするのも「教育者」である、我々の采配なのだと思います。教育する立場にある人も、考え、学ばなければ教育は出来ないのだと思います。

⑧の「会社の飲み会に参加しない」ですが、ある企業の話で、費用も会社もちだというのに、プライベートな時間を優先したがるため、飲み会ですら拘束時間だと捉えてしまうのです。で、言った言葉が「残業代は出るのですか？」と。こういった人材を教育するという事は、こちらの意識も変える必要がありませんか？自分の感覚を押し付けたら上手くいくはずがありませんよね。でも、これが現状なんです。

我々も現在の社会変化に適応していかなくは「教育者」になれません。

担い手育成

担い手育成が叫ばれている現状を見ると、叫ぶほうは一方向的に叫んでいて、対象者にはさっぱり届かないのが現状です。

小さい時から、生活環境のなかに土を触る、土間で遊ぶ環境がなくなりましたが、そのような環境で育つ社会を作らねば、土木業界に担い手は育ちません。安定した生活、高給取りのホワイトカラーばかりが先行してしまうと3Kの職種は、ますます敬遠されてしまいます。

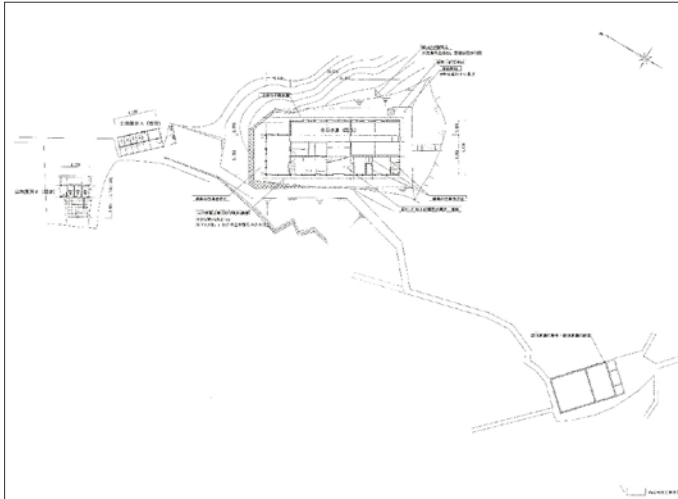
自然に親しみ、太陽を浴びて、野原を駆け回り、空っ風に吹かれて、たくましく成長する社会を作る努力をしなければ、担い手は育たない。



紹介

平成27年度 南アルプス赤石小屋他改修工事 【株式会社 特種東海フォレスト】

● 工事概要 ●



工事名 平成27年度 南アルプス赤石小屋他改修工事
工事箇所 静岡県静岡市葵区田代地内他
工期 平成27年6月5日～平成28年8月31日
施工者 株式会社 特種東海フォレスト
発注者 静岡県
現場代理人 村松 隆夫
工事概要

赤石小屋改修工事 木造 2階建て	153㎡
赤石小屋倉庫棟解体・新築工事 木造 平屋建て	45㎡
赤石岳避難小屋改修工事 木造 平屋 平屋建て	151㎡
赤石岳避難小屋公衆トイレ改修工事 木造 平屋建て	6㎡

完成



着手前



工事のポイント



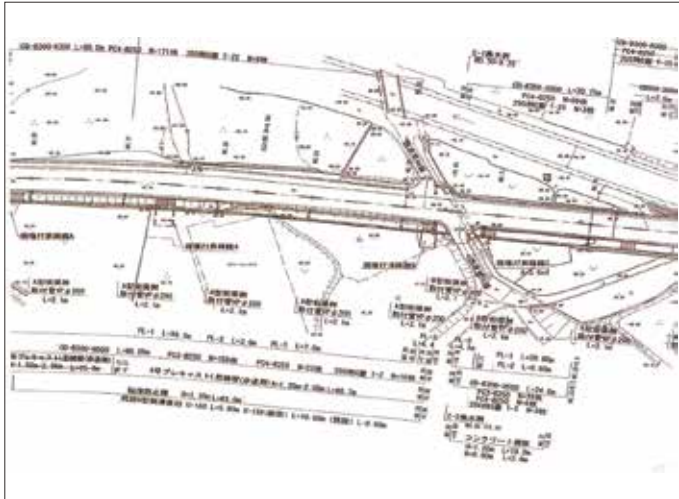
今回の現場は、榎島基地局より徒歩で6～7時間を要し、標高が2,800mの位置にあり、資機材の搬入・搬出が全てヘリの空輸になりました。厳しい作業環境条件の中、資材置場等のスペースが無かったこと、また天候不順によるヘリの待機問題がありましたが、倉庫棟横に仮設踏み場設置と荷揚げ資材重量の均一管理を行うことにより、工期の厳守と良い品質の倉庫棟を完成することが出来ました。



現場

平成27年度 社会資本整備総合交付金事業 市道東萩間西原線改良工事
【株式会社 鈴木土建】

● 工事概要 ●



工事名 平成27年度 社会資本整備総合交付金事業
市道東萩間西原線改良工事

工事箇所 牧之原市東萩間地内

工期 平成27年10月6日～平成28年2月29日

施工者 株式会社 鈴木土建

発注者 牧之原市

現場代理人 数田 康弘

工事概要

道路土工	1式
擁壁工	69m
排水構造物	238m
舗装工	983㎡
附帯工	1式



着手前



完成



工事のポイント



本工事は、(国)473号線東萩間ICに取付る拡幅工事です。現場はスズキ自動車に通勤する車両や資材を運搬する車両が数多く通行するため、片側交通規制で工事を行いました。通行車両の安全対策や農作業者の駐車スペースを確保し、安全対策を重視して工事を施工しました。



TOPICS

こんな事がありました



労働災害防止に貢献した個人、 事業場が栄えある受賞

安全で快適な職場づくりを目指し、災害防止活動の強化を図る契機とするため、「第43回静岡県建設業労働災害防止大会」が開催されました。

大会において、労働災害防止に長きにわたり貢献した個人、会社及び安全標語の受賞者がめでたく表彰されました。

平成28年度 支部長表彰 平成28年10月14日（静岡労政会館）

事業場賞

・(株)杉山工務店



功労賞

・菊池 寛 (株)柳澤組



職長賞

・森田 由一 (大河南建設(株))



事業者賞

・芝田重機(有)
(相良建設(株)推薦)



功績賞

・八木 保之 (共和建設(株))



・前市岡 利宏 (株)丸川組退職)

平成28年度 安全標語支部長表彰 平成28年10月14日（静岡労政会館）

佳作

・鈴木 記世枝 (株)山田組)

忘れるな

ルールがあること守ること
しっかり守ろう作業手順

川根地区意見交換会の開催

11月11日(金)、島田土木事務所川根支所にて県交通基盤部建設業課と川根地区の県建設業協会会員企業との意見交換会が開催されました。

県からは、建設業課の上原課長代理をはじめ、島田土木事務所川根支所や志太榛原農林事務所の職員など8名、当協会からは9名が参加しました。

意見交換では、技術と経営に優れた経営体の発展を支援するため行う建設企業を対象とした建設工事の入札制度などについて、活発に意見が交わされ、有意義な意見交換会となりました。



所変われば



十一月二十六日(金)〜二十七日(土) 広報委員会で研修旅行へ行ってきました。

向かうは「食い倒れの街大阪」。昨年は東京浅草で江戸下町情緒を味わったので、今回は浪花の心意気を感じる旅です。

バスは快適な新東名で、浜松いなさJCTを通過して、今年二月に開通したばかりの豊田東JCTへ。以前この区間の東名は、慢性的な渋滞でしたが、新東名が開通して以来、ダブルネットワークが完成され、本当にスムーズな運航が確保されました。この経済効果は大きいですね。

豊田JCTから伊勢湾岸道へ入ります。個人的に豊田JCTが好きで、この構造物を見るたびに建設業が社会資本整備に貢献している事を再認識します。もし、わが社がこれらの橋脚の一本でも携わっていたら、子供や孫達に「これはお父さんの会社で作ったんだよ!」と自慢できたのに少し残念です。

渋滞もなく、バスは大津市内に到着し、ランチタイム。昨年のお昼はあさりの「深川めし」で、庶民の味を堪能しましたが、今年はちょっと気張って、炭火焼つなぎ専門店「ひつまぶし」です。この辺りは歴史街道「逢坂の関」が

あった所、格式高くジャズが流れていて、なかなかオシャレなお店でした。

食事を済ませて、京都市内へ。この時期の京都は、何と云っても「清水寺の紅葉」。少しピークは過ぎていましたが、それでも海外からのお客様(中国人だらけ!)が多く、参道もごった返してしました。清水寺が建てられたのは、今のような重機のない時代。どうやってこれ等の資材を運び上げたのか、当時の職人さんたちの苦勞が偲べれます。

バスは名神高速・近畿自動車道を通って、京都から一時間弱で大阪入り。いよいよ真田丸で話題沸騰の大阪城です。もちろん今はコンクリート製ですが、その大きさに驚かされます。大阪城の石垣は江戸時代、各藩の威信をかけて建造された物です。ここで石積みM氏が、戦国時代からの石積みプロ集団「六太衆あのおうしゅう」のミニ知識を一席。その空間認識能力には脱帽ですが、五十トン百トンを超す巨石の輸送は想像を絶します。大阪城の西側には、太閤下くなる、下水道完備された街づくりがされたそうです。社会資本整備、街づくりには公共工事は無くてはならないものですね。

夕食は昨年の「今半すきやき」とは違って



変わって、なんばの居酒屋「がんこ法善寺店」。食い倒れの看板に偽りなしで、牛しゃぶ、カニ、お刺身等、沢山のメニューをリーズナブルに堪能しました。

翌日は「なんばグランド花月」で漫才と新喜劇を観覧。昨年は浅草演芸ホールでしたが、やはりお笑いの方は分があり、爆笑の連続でした。ただ、静岡県人としては少し過激な笑いもあり、この辺りが大阪らしさ。やはり静岡は東京に近いのかな?

東京を常にライバル視しながら、自分達の文化を築き上げた関西人気質、浪花の心意気を十分感じた研修旅行でした。やはり「所変われば品変わる」で、これが旅の楽しみだと思えます。

ところで、夕食の後、夜の大阪の街に繰り出した皆さんは、お約束?のお姉さんのいるお店へ。これはどの街へ行っても同じ行動パターン。「所変わっても人変わらさず」でした。ま、お姉さんのレベルは高く、会話も弾みました。さすが大阪ですね。 F・A

防災委員会研修旅行記
鎌倉横浜

視察研修旅行

2016年 10月21日 22日

10月21日、7時00分心配されていた天気も晴天に恵まれ、鎌倉・横浜視察研修がスタートしました。今回の研修は乗用車での移動です。防災委員13名が3台の車に分かれ1日目鎌倉2日目横浜をめぐるスケジュールです。

昨年、圏央道海老名JCT〜寒川までが開通したため、藤沢までの道のりはかなりスムーズで、サーフィンでにぎわう鶴沼・鎌倉海岸を見ながら気持ちの良いドライブでした。

〈鶴岡八幡宮〉

予定通り鶴岡八幡宮に到着、お詣りしました。定番の鳩サブレをお土産に購入し鳥居前で記念撮影。

若宮大路という参道があるが、小町商店街のほうがいりあつて楽しい。時間に余裕があればもう少し商店街のウインドウショッピングを楽しみたかったです。

〈鎌倉大仏〉

鶴岡八幡宮から車で10分程度。大仏様を拝観。やはりこの大きさに圧迫感を感じました。一巡り、真つ暗な大仏様のお腹の中にも入り



ました。体内の説明書によると、750年もの大昔にこのような大仏を、30以上の部分に分けて鑄造し、組立て、つなぎ合わせたものだそうです。先人の技術力には脱帽です。



〈横浜中華街〉

エリアに入ると異国の感じがプンプンします。平日ということもあってかとても空いていたように感じます。防災委員Kさんのお勧め中華店「龍翔記」での食事は、値段も安く大満足でした。とくにフカヒレスープ、北京ダックがおいしかったです。

〈みなとみらい〉

2日目は朝からみなとみらいで自由行動。赤レンガ倉庫、カップヌードル博物館等をめぐり、最後は旅行締めくくりのクルーズ船ランチです。ぶかり栈橋から出航し、みなとみらいの景色を海から見ながらおいしい食事とお酒を堪能しました。ベイブリッジを下から見ることができました。

今回、少ない予算で大満足の研修旅行になったと思います。今年ものこりあとわずかですが、気を引き締めて安全衛生活動にあたり事故無しで年末年始を迎えられるよう頑張りたいと思います。また、今回の研修で運転手を引き受けてくださった方々、本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

M・M

イベントカレンダー

イベントの実施・日時・会場については主催者または天候により変更する場合があります。事前に必ずご確認ください。

12/1 子ども歴史スタンプラリー 2016 藤枝市
「藤枝道中手形」
⑧郷土博物館・文学館 ☎054-645-1100

1/5 大鐘家「雛のつるし飾り展」 牧之原市
⑧大鐘家 ☎0548-52-4277
⑧観光交流課 ☎0548-53-2623

1/中旬 すべらず地蔵尊祈願祭 島田市
(10時00分から14時00分)
長い間旅人の足元を守ってきた「滑らない山石を敷いた石畳」に因んで、お地藏様をすべらず地蔵と呼んでいます。「安全に、滑らず、転ばず、着実に進めるように」と試験合格、健康長寿、家内安全などを願ってお参りする方が多く訪れます。
⑧市観光協会 ☎0547-46-2844

1/28 開運厄除初不動尊縁日 藤枝市
⑧鬼岩寺 ☎054-641-2932

2/3 成田山 豆まき 藤枝市
⑧成田山新護寺 ☎054-641-0652

2/3 柏屋 節分 藤枝市
⑧岡部宿大旅籠柏屋 ☎054-667-0018

2/8 山の神まつり 藤枝市
⑧神社社 ☎054-667-0039

2/8 医王寺のだるまし 島田市
2月8日は薬師の初の縁日で、薬師堂へ初詣りする日です。金谷の医王寺では初薬師に毎年「だるまし」が立ち、もっとも寒い季節にもかかわらず、賑やかな縁日となっています。
⑧医王寺 ☎0547-45-2820

2/1 相良梅園開園 牧之原市
(2月5日～3月6日頃)
⑧市観光協会 ☎0548-22-5600
⑧観光交流課 ☎0548-53-2623

2/11 国指定重要無形民俗文化財「蛭ヶ谷の田遊び」 牧之原市
⑧社会教育課 ☎0548-53-2646

2/中旬 伊太梅まつり 島田市
梅のまちづくりで知られる伊太のコミュニティが実施する祭り。田園を望む小高い丘にたくさんのお梅が咲きほころぶ中、様々なアトラクションや物販エリアで楽しい1日を満喫できます。
⑧産業観光部観光課観光交流係 ☎0547-36-7163

2/中旬 家山梅まつり 島田市
約1.5ヘクタールの土地に約360本の梅が植えられており、高台からは家山地区の町並みや野守の池、大井川などが一望できます。
⑧市観光協会川根支所 ☎0547-53-2220

2/16 静岡県書道連盟 書きぞめ榛南地区展 牧之原市
2/19 吉田町
⑧静岡県書道連盟榛南支部 事務局 ☎0548-32-1221

3/1 ヤマメ釣り解禁 藤枝市
⑧瀬戸川・朝比奈川 ☎

3/12 ふじえだマラソン 藤枝市
(雨天決行)
ひとりでもふたりでも
誰と走っても
瀬戸谷路は今日も
春でいっぱい。
スタート&ゴール
藤の瀬会館前広場
⑧ふじえだマラソン実行委員会事務局 ☎054-643-3126

みんなでつないで めざそう 花の世界ー! 藤枝市
植栽セット配布日
平成29年 1月31日(火)～2月3日(金)
受取り場所▶藤枝総合運動公園
プランター搬入日
平成29年 3月2日(休)～3月5日(日)
搬入場所▶蓮華寺池公園
世界ー! **3月18日(土)** みんなで世界記録達成!
⑧企画財政部連携交流課 ☎054-643-3229

3/下旬 徳山のしだれ桜 川根本町
4/1 川根本町
県立川根高校と町営サッカー場の間に、約50本の枝垂桜が植えられた並木道は、長さ150m。つばみの頃から満開の時期まで、地元の人々はもちろん、遠方からの花見客で賑わいます。
⑧川根本町まちづくり観光協会 ☎0547-59-2746

3/下旬 かわね桜まつり 島田市
4/1 島田市
桜の名所として名高い川根町家山。大井川鐵道沿いに続く約1キロメートルの道が桜でうめ尽くされる桜トンネルは最大の見どころ。その脇をSLが走っている景色はとても印象的です。
⑧市観光協会川根支所 ☎0547-53-2220

3/下旬 河原町桜まつり 島田市
4/1 島田市
地元町内会により例年開催されるイベント。桜見物に来た人々を色々な催物で楽しませてくれます。祭りの開催前後2週間は桜に提灯が灯り、夜桜を華麗に演出します。
⑧産業観光部観光課観光交流係 ☎0547-36-7163

3/下旬 大津谷川桜堤防(桜まつり) 島田市
4/1 島田市
大津谷川に咲き誇る桜並木。3月下旬から4月上旬にかけて2週間ほど提灯が灯り、夜桜を華麗に演出します。

わが町探訪

大鐘家・吊し飾り展

大鐘家の長屋門と母屋は約300年前の建築物で国定重要文化財に指定されています。約1万坪の敷地内の庭園には、アジサイ、花菖蒲、芙蓉等が植えられ四季の花々が楽しめます。その大鐘家の母屋内に吊し雛始めとし吊るし飾りを80点ほど展示いたします。江戸時代の古民家に鮮やかに飾られて風情が楽しめます。1月8日から5月中旬まで開催いたします。

概要

住所: 〒421-0511 牧之原市片浜1032 **TEL/FAX:** 0548-52-4277
開館時間: 9:00～17:00 (入館16:30まで)
吊し飾り展期間中は無休
入場料: 大人500円・小人300円
アクセス: 公共交通 J R藤枝駅→しずてつジャストライン藤枝相良線で50分、バス停: 片浜下車、徒歩5分
車 東名高速吉田ICから国道150号経由10km20分
H P: <http://www3.tokai.or.jp/oganeke/>



災防日誌

災害防止への取り組み

建設業の予防安全

「光陰矢の如し」といいますが、年を重ねる毎に一年があつという間に過ぎてしまいます。「人生60年」といわれますが、この言葉に反応される方は、私と同じ年代ではないでしょうか？

今は自動車が必要不可欠な車社会となりましたが、私が幼少の頃といえば、走っている車を見るのが少ない時代で、まだ三輪トラックが走っている時代でした。

それから約半世紀が経ち、自動車は目覚ましく進化しています。自動車の自動運転など正に、未来の夢物語が現実のものとなってきています。それと、運転を楽しむだけではなく「予防安全」の方も進化しています。

高齢者によるアクセルとブレーキの踏み間違えによる事故のニュースをよく耳にしますが、万一ブレーキとアクセルを踏み間違えても発進しないよう車を制御する機能や、走行中に前方の車両や人への衝突を防ぐ機能など、最近の自動車はまさに、先進技術の塊だと思えます。

一方、私たち建設業の予防安全はどうなのでしょう？例えば重機災害防止対策として、「立入禁止措置」や「誘導者の配置」などがありますが、予防安全に対する「機能」的なものは、余り変わっていないと思います。



それこそ重機の旋回内に人が近づけば重機が警告音を発し、注意を促しそれでも接触しそうな場合は、重機が自動的に停止するといった機能など、今の時代なら実現可能なことだと思います。

「i - Construction」の技術も結構ですが、予防安全のICT化をもっと進めてほしいと思うのは、私だけでしょうか？

(T.O)



協会だより ～協会のうごき～

●理事会

- 第4回会議 10月18日(火) 当協会
- ・退会届の受理について (株藤原組)
 - ・退会した会員への特別功労記念品の支払いについて
 - ・新年賀詞交換会等の開催について
 - ・静岡県建設業協会第5回理事会の概要(抜粋)について

●正副会長会議 当協会

- 第5回会議 10月18日(火)
- ・第4回理事会議題について
 - ・忘年会の日程調整について
 - ・国関係機関への要望活動について
- 第6回会議 12月20日(火)当協会
- ・全建表彰及び県協会長表彰受賞者の推薦について
 - ・新年官公庁挨拶回りについて
 - ・新年賀詞交歓会の開催について
 - ・協会事業の運営について

●総務委員会

- 国土交通省中部地方整備局静岡国道事務所長へ要望書提出
- ・平成28年11月21日(月) 正・副会長ほか
- 国土交通省中部地方整備局静岡河川事務所長へ要望書提出
- ・平成28年11月21日(月) 正・副会長ほか
- 国土交通省中部地方整備局浜松河川国道事務所長へ要望書提出
- ・平成28年11月21日(月) 正・副会長ほか
- 年末の交通安全県民運動への参加
- ・平成28年12月15日(木)～31日(土) 全会員

●広報委員会

- 第8回委員会 10月7日(金) 当協会
- ・広報誌VOL150号の企画
- 第8回委員会 12月2日(金) 当協会
- ・広報誌VOL150号の校正
- 第9回委員会 12月8日(木) 当協会
- ・広報誌VOL150号の最終校正
- 視察研修
- ・11月25日(金)～26日(土)
「京都・清水寺、大阪・大阪城ほか」

●環境・災害対策委員会

- 鳥インフルエンザ防疫演習
- ・平成28年10月14日(金)
大井川農業協同組合果樹林産センター
- 第2回災害対策用機械操作訓練
(国土交通省静岡国道事務所・静岡河川事務所共催)

- ・平成28年11月29日(火)
安倍川左岸河川敷 (静岡市葵区与一5丁目地先)
静岡空港航行不能航空機撤去に関する協定に関する勉強会
- ・平成28年12月8日(木)
富士山静岡空港ターミナルビル 2階第2会議室

●建災防島田分会

- 安全パトロール
- ・第6回 10月18日(火) 5地区
 - ・第7回 11月15日(火) 5地区
 - ・第8回 12月20日(火) 5地区
- 第43回静岡県建設業労働災害防止大会への参加
- ・10月14日(金) 静岡労政会館
視察研修
 - ・10月25日(金)～26日(土)「鎌倉・鶴岡八幡宮、横浜・赤レンガ等」

●退会のお知らせ

下記の方が退会されました。

会社名	代表者名	退会日
(株藤原組)	藤原哲雄	平成28年8月24日

●各種催事等

- 10月25日(火) 東海四県ブロック会議 (四日市)
(四日市都ホテル)
- 11月11日(金) 中部地方整備局との意見交換会
(ホテルセンチュリー静岡)
- 11月21日(月) 「地域の暮らしを守り、未来を創る。『静岡県建設産業の主張2016』」(グランシップ)

●今後の予定

- ・一般社団法人島田建設業協会「平成29年 新年賀詞交歓会」
日 時 平成29年1月11日(水) 17:00～
場 所 ホテルオーレ
- ・静岡県建設産業団体連合会「賀詞交歓会」
日 時 平成29年1月13日(金) 12:00～
場 所 グランディエール プケトーカイ
- ・静岡県交通基盤部幹部との意見交換会
日 時 平成29年1月26日(木) 13:15～
場 所 静岡県建設業会館

表紙解説

酉年(とりどし)

酉年生まれの方は、集中力が高く凝り性で、自分の意見を曲げることが苦手であるが、努力を惜しまず几帳面で責任感が強いので仕事は安心して任せられる人が多いそうです。少子高齢化に対応して、商売繁盛・子孫繁栄の意味を込め、親鳥だけでなく、雛鳥も作成したとのこと。



創る
つくる

建設業協会 広報誌 創る 第150号 平成29年1月1日

発行元：一般社団法人島田建設業協会 広報委員会

島田市中央町12-10 TEL 0547-37-7105 FAX 0547-35-5705

URL <http://www.shimadakenkyo.jp/> E-mail info@shimadakenkyo.jp

印刷：株式会社 共立アイコム 藤枝市高柳1-18-23 TEL 054-635-4651